

ICカード乗車券を活用した連携サービスの拡大について

～JR西日本でのPiTaPaカードによる チャージ（入金）不要のポストペイサービスの導入について～

西日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR西日本」）およびスルッとKANSAI協議会では「ICカード乗車券を活用した連携サービス」に基づき、これまでIC連絡定期券の導入など各種連携サービスを実施してまいりましたが、このたび、更なるお互いの鉄道利用の利便性向上と一層の利用拡大を図る観点から、JR西日本でのPiTaPaカードによるチャージ（入金）不要のポストペイサービスの導入について、合意いたしました。これまでPiTaPaカード内にチャージ（入金）していただくことでJR西日本を含む全国相互利用対象エリアでのPiTaPaカードのご利用が可能となっておりますが、新たにJR西日本の近畿圏エリア（予定）においてポストペイによるご利用が可能となり、さらには、ポストペイならではの運賃割引サービスを適用します。

今後ますます便利になるICカード乗車券を是非ご利用ください。

※ポストペイ：お使いいただいたご利用代金の自動引き落とし（後払い）サービスです。1ヵ月間（1日～末日）のご利用代金を自動集計し、後日指定口座から後払いでお支払いいただくものです。

1. 導入時期

平成30年秋（予定）

2. JR西日本における導入エリア

近畿圏エリア（予定）

3. 上記エリアにおけるJR西日本で導入するPiTaPa割引サービスの概要

PiTaPaカードで自動改札機をご利用（入場・出場）された際のご利用状況を1ヵ月間（1日～末日）で集計し、ご利用の区間や回数など、JR西日本で定めた条件に適合した場合、ご利用の内容に応じて運賃の割引をするサービスです。

4. その他

サービスの詳細は決定次第、改めてお知らせいたします。

※「PiTaPa」は、株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。

以上

別紙1 JR西日本およびスルツとKANSAI加盟社局による「ICカードを乗車券を活用した連携サービス」

(平成18年1月 ICOCA-PiTaPa相互利用開始)

平成21年11月 「ICカード乗車券を活用した連携実現に向けた合意書」締結

合意書に基づき以下のサービスを導入

JR西日本



★ IC連絡定期券サービス★

(スルツとKANSAI加盟社局とのICOCA連絡定期の発売)

平成22年 京阪電気鉄道
平成24年 近畿日本鉄道
平成26年 南海電気鉄道
平成27年 阪神電気鉄道、神戸新交通
平成29年 阪急電鉄、山陽電気鉄道、神戸電鉄



★ お互いの仕組みを活かした連携サービス★

(PiTaPaカードによるポストペイサービス導入)

平成30年 近畿圏エリア

スルツとKANSAI



(JR西日本とのPiTaPa連絡定期の発売)

平成26年 南海電気鉄道
平成27年 阪神電気鉄道、神戸新交通
平成29年 阪急電鉄、山陽電気鉄道、神戸電鉄



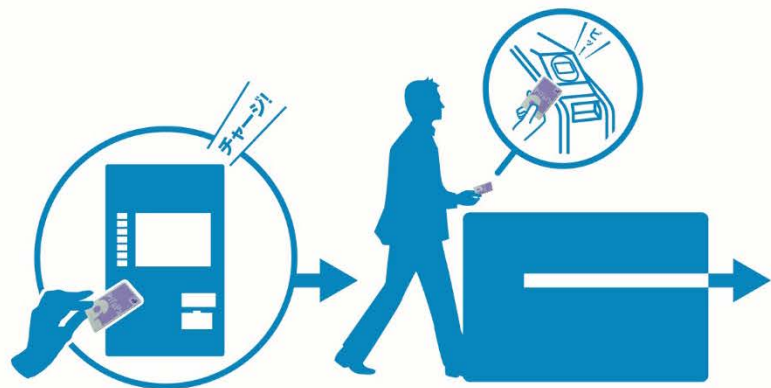
(ICOCA、ICOCA定期券の発売)

平成23年 京阪電気鉄道
平成24年 近畿日本鉄道
平成29年 南海電気鉄道、泉北高速鉄道
大阪市交通局、神戸市交通局
京都市交通局、大阪高速鉄道
北神急行電鉄、神戸新交通
山陽電気鉄道、神戸電鉄
山陽バス

これまでJ R西日本でP i T a P aカードをご利用いただく際は、事前にチャージ（入金）いただくことでプリペイドによるご利用が可能となっておりましたが、今回新たにJ R西日本の近畿圏エリア（予定）でポストペイ利用が可能となり、事前のチャージ（入金）なしでご利用いただけるようになります。

サービス開始まで

プリペイド によるご利用



ご乗車いただく前に
事前にチャージ(入金)が必要です。

サービス開始以降

ポストペイ によるご利用



ご乗車いただく前の
事前のチャージ(入金)が不要です。

※指定の銀行口座等から引き落としいたします。